



予選レポート

2016/10/29 Rd-7 鈴鹿サーキット

天候：曇り 気温：20℃ 出走台数：19台

4月にここ鈴鹿で開催した全日本スーパーフォーミュラ選手権は、6大会7レース中優勝者6名という大接戦を展開し、再び最終戦 鈴鹿へと帰ってきた。

2レース制のJAF鈴鹿グランプリは、ノックアウト第1予選の順位で決勝レース1のスタートグリッドを決め、その後ノックアウト第2、第3予選を経た最終予選結果で決勝レース2のグリッドが決定される。

決勝レース1のグリッドを決めるノックアウト第1予選。DOCOMO TEAM DANDELION RACINGの2台は共に、レース1のポールポジションを狙ってコースイン。野尻選手は第1、第2セクターと、タイムを更新するものの、第3セクターでタイムが伸びず3番手、バンドーン選手は車体バランスが決まらず7番手で第2予選へ進んだ。

続く第2予選、両選手はバランスを小変更しコースイン、渾身のワンアタックをミスなく決めた両選手だが、第3セクタータイムは相変わらず伸び悩み、野尻選手は4番手、バンドーン選手3番手で第3予選に進む。

決勝レース2、トップ8台のスタートグリッドを決める第3予選。

早めにコースインした野尻選手は、慎重に間合をコントロールしながらアタック。ミスなくまとめたが4位で、バンドーン選手は第1セクター、第2セクターとずば抜けた速さを見せ、第4セクターでもトップタイムを記録するが、第3セクターでトップタイム記録できず、僅か1000分の5秒差の2位で、予選を終えた。

40：野尻 選手 決勝レース1 予選3位、決勝レース2 予選4位

力を出し切ることはできましたが、満足いくセットアップにたどり着くのに時間がかかってしまいましたね。SFマシンは、ほんの少しの変更で大きくバランスが変わるため、少し慎重になりすぎたかもしれません。最終的には非常にいい状態ですが、トップにはまだ届きません。明日はチャンピオンを意識せず、とにかく前を目指してレースを面白くします。

41：バンドーン選手 決勝レース1 予選7位、決勝レース2 予選2位

走り始めから車のバランスはよかったですね、レース1の予選7番手は上出来とは言えませんね。第1予選後のセットアップ修正で、車はすごく良くなって、しかし常に第3セクターでタイムを縮めることが出来ず、0.005秒差の2位は悔しいね。

レース2では戦略も重要だから、チームと一緒にスーパーフォーミュラ最終戦を楽しみたいですね。